

キャラクター名 ハイダー	プレイヤー名
-----------------	--------

種族	メリア	種族特徴	繁茂する生命		
生まれ	操霊術士	性別	男	年齢	15
冒険者Lv	11	経歴	5人以上の兄弟姉妹がいる (いた)		
経験点	250		忘れられないほど美味しいものを知っている かつて信頼できる友人がいた		

	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	7	器用度	6		13	2
		敏捷度	4	3	14	2
体	6	筋力	2	14	22	3
		生命力	14	8	28	4
心	16	知力	6	23	45 + 2	7
		精神力	3	16	2	37

技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.
ソーサラー	6						
コンジャラー	10						
プリースト/キルヒア	11						
セージ	9						
アルケミスト	1						
ウォーリーダー	5						
ドルイド	4						

戦闘特技			
ルーンマスター	1B34p		p
鋭い目	2120p		p
弱点看破	2121p		p
マナセーブ	2123p		p
魔法拡大/数	1-289p		p
武器習熟A/スタッフ	1-281p		p
武器習熟S/スタッフ	1-281p		p
MP軽減/プリースト	1-283p		p
魔力強化	2-230p		p
ダブルキャスト	2-234p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要			
	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	防弾加工のマナコートプラス	1	7	7
盾	ラウンドシールド	8		1
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	合計値		7	8

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マナスタッフ 魔力+1、魔法の武器である 宿り木の棒杖加工 専用発動体化	2H	3	1	2d+	1	12	3	13									
乗り物酔いのブラックロッド 魔法行使時のMP-1 アビス強化 魔法による回復量+1 宿り木の棒杖加工 専用発動体化	2H	10	1	2d+	1	12	3	20									
サーベル 発動体加工	1H	10		2d+	0	10	0	10									
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	
3 _m	14 _m	42 _m	2d+	7	8	61

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+	16	2d+	7	132

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	6	16			
操霊魔法	10	20			
深智魔法	6	20			
神聖魔法	11	21			

装備品	説明
頭 差配の冠	拡大魔法数宣言時、打点決定後、対象選択できる
耳 ラル=ヴェイネの金鎖	
顔 ラルヴェイネの観察眼	まもちき、弱点隠蔽時、弱点値-4
首	
背中 ウェAPONホルダー改	カードシューター 盾 収納
右手 聖印専用化	神聖魔力参照時、知力+2
腰 ディスプレイサーガジェット	その他+1
足 ラルヴェイネのダクソルッカー	魔力+1 自分で立てる常に足場が悪い状態
その他ラル=ヴェイネの肩掛け	

装備品	説明
左手 叡智の腕輪	
聖王の冠	威力表ファンブル時、魔力点分回復

その他メモ	自動失敗 チェック
花はアジシイ (hydrangea)、夢は立派な神聖魔法使いになること。	
厳格な操霊術士の家系の末っ子に生れた。代々操霊魔法を扱う家系で、2歳から魔法の資質を試す儀式があったり、ユージス魔法学園「七色のマナ」へ受験勉強を3歳からやらせたりと英才教育を行う家庭だった。	□□□□⑤
長男、長男は共にを主席で卒業し、次男次女も操霊魔法学科にて就学中で優秀な成績を取っている。	□□□□⑩
魔力は優秀だったものの、精神力が低かったためイマイチ期待されておらず、逐一「兄さんならすぐにできた」とか「姉さんなら簡単にはへばらなかつた」と比べられ、あまりいい扱いはされなかつた。	□□□□⑮
だが兄弟より親しい友人が一人いた。村の協会に同じメリア(梅)で神聖魔法使いでもあり操霊術師でもある2つ年上の友達があつた。よく課題が終わると、愚痴や相談を聞いてもらい、一緒に走り回って遊んだりもした。神官としての魔法やあり方、人柄から、操霊魔法より神聖魔法に興味を惹かれるようになっていた。	□□□□⑳
その後、彼は「領主の娘さんとの結婚が決まった、結婚式にはハイダーのご家族も含め招待を贈ったからぜひ来ててくださいね。」と言つた。	□□□□㉕
	□□□□㉙
	□□□□㉚

